

令和 6 年度 第 2 回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和 6 年 12 月 4 日 (水) 15 時 00 分～16 時 30 分

2. 場 所 本校会議室

3. 出 席 者 学校協議会委員 (出席 5 名)
・ 牧野 浩二 ・ 戸堂 耕造 ・ 細越 浩嗣
・ 山口 裕通 ・ 寺山 薫

4. 議 題 ①審議事項
なし

②報告・協議

- (1) 生徒在籍数及び追認指導について
- (2) 実力テストの結果について
- (3) 生徒状況について
- (4) 学校行事・部活動・生徒会活動について
- (5) PTA 活動について
- (6) 広報活動について
- (7) 国際交流について
- (8) 地域連携活動について
- (9) その他

5. 協 議 概 要 以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

<学校運営全般について>

○過去に本校に勤務していた際、生徒指導部長をしていたが、平成 21 年以前は 10 件以上の遅刻で指導を行っていたが、これぐらいは遅刻してもよいという許容範囲を示すと、甘えて許容範囲ぎりぎりまで遅刻してくる生徒がいたため、平成 22 年度以降に遅刻数 5 件で指導することに変更した。遅刻 3 件で指導でもよいのではないか。

→よく遅刻指導が続いていると思う。生徒たちも素直に指導に従ってくれている。

○1 年生の 5 月、6 月に転学する生徒がいることは問題である。その生徒はどのような状況で学校としてどのように対応しているのか。

→入学したものの、生徒自身が学校になじめず学校に行きたいという気持ちが向かない状況であった。担任も親と連携して様々なアプローチをして尽力してきたが、残念ながら転学することとなった。倍率が低くなったことが影響しているのではないか。

○高石市との包括連携を高石市との包括連携を結ぶ予定であるとのことなので、泉大津市内の中学校への出前授業だけではなく、高石市内の中学校へも出前授業を行ってほしい。
→今後検討していきたい。

○広報手段として、高石高校のインスタグラムがない。使ってみてはどうか。インスタグラムの投稿でPTAの活動を報告することで、PTA役員の指名がしやすくなるのではないかと。
→他の高校でも活用している例があると聞いているので、本校でも検討中である。SNSは難しいこともあるが、使いこなすことができればより有効なPR方法である。

<生徒指導について>

○自転車通学率は？
→50%程度である。

○道路交通法で、自転車の「ながら運転」や「飲酒運転」に対する罰則が強化されるとともに、自転車に乗車する際のヘルメットの着用が努力義務化されている。これらのことをしっかり指導をしてほしい。

→交Ⅰ学期にⅠ年生に交通安全指導講習を行って指導するとともに、終業式や始業式の際にも生徒に注意喚起を行っている。ヘルメットの着用については努力義務ということで、登下校時に必ず着用するようにという指導はしていないが、着用を呼び掛けるとともに、希望する生徒にヘルメットを寄贈してくれるという企業があり、府教育庁を通じて希望する生徒の人数を調査してほしいという通知があったので、現在希望者を募っているところである。

○自転車の事故はないか。
→少なからずあるが、それでも少数である。

<進路指導について>

○1日あたりの勉強時間の平均が26分は少ない。
→生徒の家庭学習の時間をどのようにして長くしていくかは大きな課題である。クロムブック等を活用しながら事前課題や復習のための課題をあたえるなど、有効な方策を考えて課題を解決していきたい。

○実力テストのWeb回答も良かった。授業中でのICT活用や調べ学習で困っていることはないか。
→授業でのICT使用率は増えている。(7,8割の教員が使用)
生徒と教員は1人1台端末を持っている。クイズ形式のアプリがあり、楽しく学べる。

<学校生活について>

○いじめアンケート(年3回実施)について、小さなことでも小さなことでもいじめの兆候を見逃さないようにしてほしい。重大事象になる前にいじめを防ぐことが重要である。
→本校ではいじめの認知件数は少ないが、現場の先生が小さいことでも許さないということを肝に銘じている結果である。今後もしっかりと取り組んでいきたい。

○闇バイトに関して最近問題になっているが、高石高校では生徒にどのような指導をしているのか。

→事前の指導は必要である。検挙された場合の代償の重さが、得られる報酬に対して割に合わないことをしっかり伝え、指示役から個人情報やネタに脅迫されても決して犯罪に加担せず、周りの大人や警察に必ず相談して解決するよう指導する必要がある。明らかに高額なら怪しいが、最近は少額の報酬で実行役を勧誘したり、最初は普通のバイトを装って勧誘してくるケースもあるため、それらも含めて、終業式等の機会にしっかりと指導していきたい。

<地域連携活動について>

○徳島県立池田高校を選んだきっかけは？

→「たか高トライアングル事業」の一環として、以前に徳島県で教員をしていた本校教員とのつながりがあったため、池田高校にお願いすることとなった。

○高石市総合防災訓練「イザ！カエルキャラバン！」への本校生徒有志の参加はすばらしい取り組みだ。今後も続けてほしい。

○ボート体験会、参加人数は？

→1ヶ月の人数であった。初めての取り組みで泉大津市立中学校への周知が不十分だったと思われる。12月には高石市立中学校の生徒と保護者を対象として実施する予定である。

<入試について>

○今年度の入試から、オンライン化が始まる。支障はないか。

→自己申告票の入力方法が中学校によって異なることや、不備のある出願に対する対処方法など、試行段階でも様々な課題が判明している。本番で実際に運用する際にスムーズに処理ができるよう、しっかりとシュミレーションしていきたい。

○来年度は何クラス募集か。

→8クラス（昨年度比1クラス減）募集である。

<広報について>

○来年度の中学生の志望動向や広報活動について。

→中学校訪問の際に中学校の先生に話を伺ったところ、高石市より南の中学校は地元で私立高校が少ないため、公立志向であると聞いている。高石より北のことは情報が少ないのでわからない。中学生には、足を運んで高石高校を見てもらいたい。